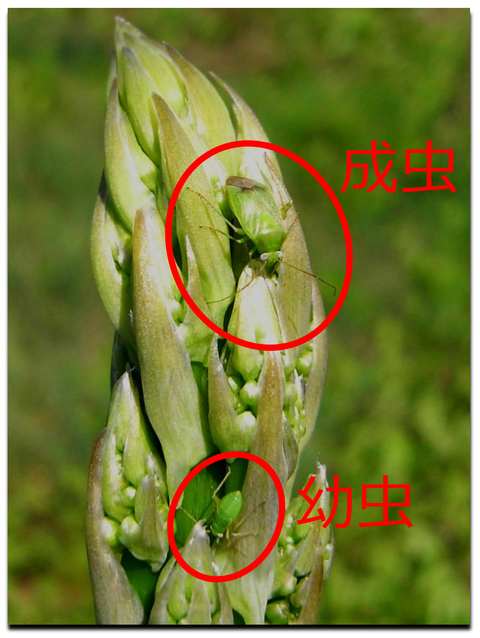
秋の防除で春の被害を防ごう
ーアスパラガスのカメムシ対策ー

概　要 Abstract

ツマグロアオカスミカメの加害でアスパラガスの若茎に傷や曲りが生じ、大きな被害となっていました。発生地では薬剤散布等も試みられましたが十分な効果が得られていませんでした。道総研では、このカメムシの生活スタイルに基づいた総合防除対策を確立しました。



成　果 Results

この虫は卵で越冬するので、①8月以降の薬剤散布と②秋季の茎葉搬出により秋の防除で越冬卵を減少させることが翌春の被害を防ぐポイントです。それでも若茎被害が多い場合は③若茎収穫期の薬剤散布を実施して下さい。 融雪後、アスパラガスの萌芽前に④ガスバーナーで土壌表面を焼くことも効果が期待できます。

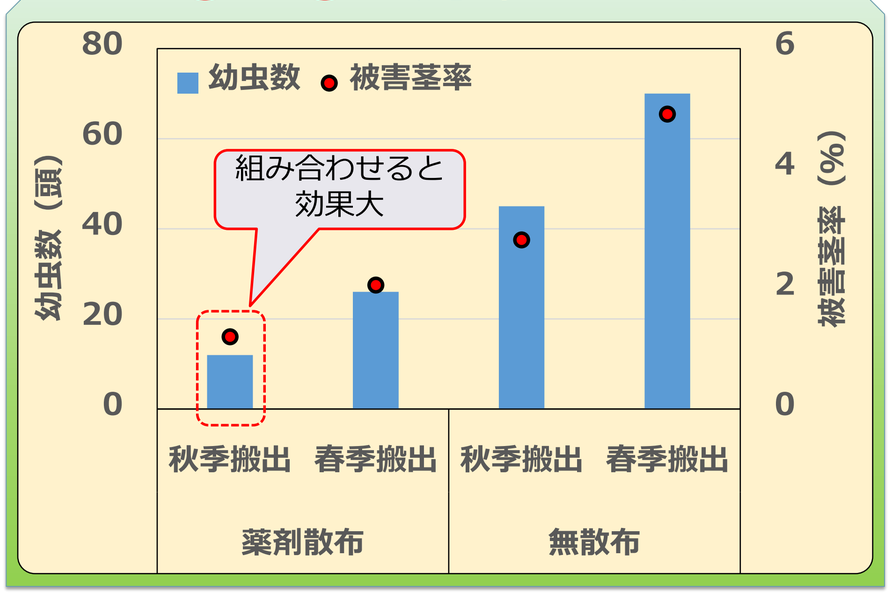
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	冬季
アスパラガス栽培（露地春どり作型）		（若茎収穫期）				（根株養成期）			越年
		萌芽		立茎				茎葉の黄化	
発生生態 アスパラガス圃場		孵化→	幼虫	⋯⋯▷	成虫	成虫と幼虫が混在			成・幼虫死亡
						越冬卵を産卵			卵で越冬
防除対策 耕種的防除		④バーナー処理						②秋季茎葉搬	
薬剤散布			③薬剤散布（若茎被害減少）			①薬剤散布(越冬卵減少)			

散布は４薬剤が有効

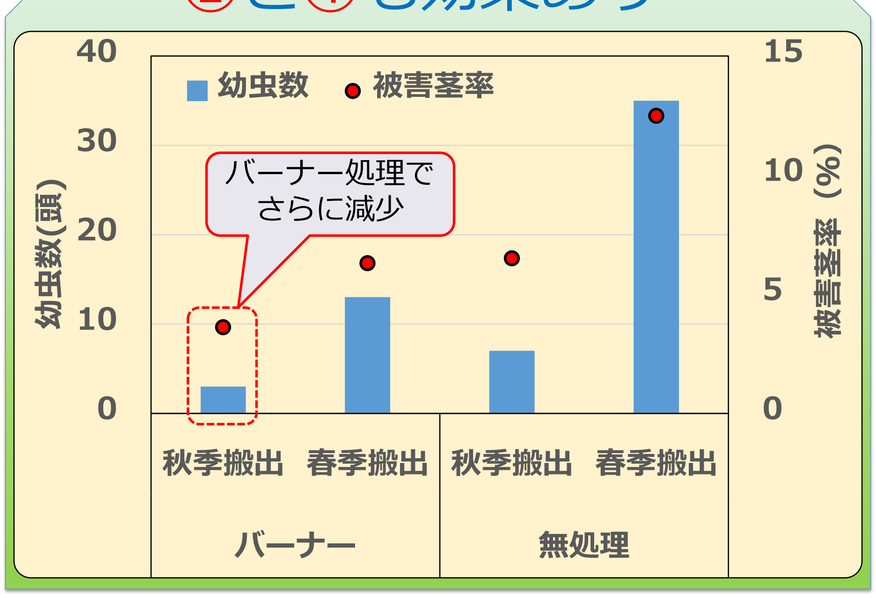
供試薬剤	希釈倍率	①8月以降	③若茎収穫期
ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤	×3000	○	○
ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤	×2000～4000	○	○
ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤SG	×2000	○	○
ｱｸﾘﾅﾄﾘﾝ水和剤	×1000	○	（○）
ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ液剤	×4000	△	△

○:効果が認められた。△:効果がやや低い。
（ ）は試験が1例しか無いことを示す。

①と②が対策の基本



②と④も効果あり



普　及 Dissemination

①アスパラガスのツマグロアオカスミカメ対策として道内で幅広くご利用ください。
②本試験は露地の春どり作型で実施しました。

連絡先 Contact

花・野菜技術センター 研究部 生産環境グループ
０１２５－２８－２８００
hanayasai-agri@hro.or.jp